

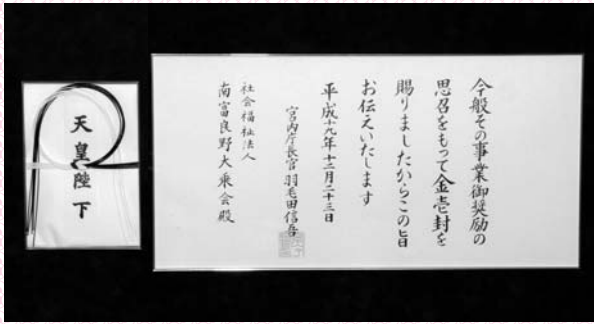
## 天皇陛下からの御下賜金を拝受 社会福祉法人南富良野大乗会

12月23日の天皇誕生日にあたり、社会福祉事業奨励の思召により、優良民間社会福祉事業団体として、本町の社会福祉法人南富良野大乗会（竹澤喜一郎理事長）に天皇陛下から御下賜金が拝受されました。

天皇陛下からの御下賜金は、天皇誕生日にあたり、全国の都道府県と政令指定都市から推薦を受けた優良福祉施設・団体各一箇所に天皇陛下から御下賜金が拝受されますが、平成19年は、社会福祉法人南富良野大乗会が選ばれ、去る12月26日に、中川元上川副支庁長から竹澤理事長に金言封が伝達されました。

社会福祉法人南富良野大乗会は、昭和56年に知的障害者更生施設「南富良野からまつ園」を設立以降、長年にわたり多くの知的障がい者を受託し、知的障害を持つ方とその家族の福祉向

上に努められ、また、当法人設立後、多くの社会福祉事業を設置・運営され、利用者の障がい特性に応じた支援を行うとともに、自立した生活や社会復帰の促進を図るため、地域における支援体制の充実に尽力するなど、障がい者の福祉と生活支援に多大な貢献をされたことから、この度、金言封が下賜されたものです。



## 地域安全の拠点 幾寅駐在所が開所

昨年9月から工事が行われていた、幾寅駐在所が完成し、1月9日に開所式が行われました。

幾寅駐在所は、従来の建物の老朽化に伴い、国道38号線沿いの幾寅地区宅地分譲地の1区画に場所を移転し新築されたもので、延べ面積は約140平方メートルの広さで、旧駐在所にはなかったコミュニケーション△が設けられ、地域の生活

安全センターとしての役割を果たすための充実した施設となりました。

開所式では、町防犯協会や町交通安全協会などの関係者が出席する中、富良野警察署吉田義幸署長から、「地域の皆様が安心して暮らせるよう最善の努力をしていきたい。」と挨拶。続いて来賓として池部町長が祝辞を述べ、幾寅駐在所但野警一所長が、「この駐在所



を拠点に、町民の皆様が安心して暮らせる生活を守るため、邁進したい。」と決意を述べていました。

## 町農業委員会が「農業振興施策に関する建議書」を提出

12月25日、南富良野町農業委員会（小林彦一会長）では、農作物の輸入増加による価格低迷など現在の厳しい農業情勢を受けて、各種農業施策への継続実施や鹿などの食害による対策についての要望を盛り込んだ「農業振興施策に関する建議書」を池部町長に提出されました。

建議書では、町の単独3

事業「地力増強事業」「農地融雪促進事業」「新規作物導入事業」についての継続実施や、鹿などによる農作物への食害対策として、全町的な鹿防護柵の設置、農業経営者の高齢化や後継者不足による遊休農地および耕作放棄地の増加に対する農地流動化対策の強化、地産地消への取り組みなどについて要望されました。



池部町長に建議書を手渡す  
小林会長と二瓶職務代理者